

大阪市民のみなさんへ 2025万博 大阪・関西へ

子ども・教育

# 子どもたちに質の高い教育を！！

## 【学校を良くするための3つの取り組み】

### 1. 教員のレベルアップを

◎大学との連携を進めています

現状や将来に発生する課題解決に向け、教員のレベルアップに取り組みます。

大阪教育大学・連合教職大学院×大阪市

- ・学生の現場実習を行い人材育成
- ・教員を新たな研修や大学院・海外へ派遣し、指導力向上やリーダーを育成 など

- ・現場経験をもつ優秀な人材が確保できる
- ・学力に課題がある学校への支援が強化できる
- ・若手教員を指導する立場の教員が育つ など

問い合わせ▶教育委員会 教育政策課 ☎6208-9027 FAX6202-7052

### 2. 教員が子どもと向き合える時間を

◎民間との協働などにより、教員の負担を軽減します

教員が教育活動に専念できるよう業務を見直し、負担を軽減します。

- ・部活動指導の民間委託や外部の指導員を配置
- ・小・中学校の業務時間外の電話対応を音声ガイダンスに など

- ・教員の長時間勤務を改善
- ・教員の負担軽減 など

問い合わせ▶(部活動指導)教育委員会 教育活動支援担当 ☎6208-8172 FAX6202-7055  
(音声ガイダンス)教育委員会 教職員給与・厚生担当 ☎6208-9131 FAX6202-7053

### 3. 中学校給食の充実を

◎分量調整やアレルギー等に、より柔軟に対応します

成長に必要な栄養バランスのとれた温かい昼食を提供します。

- ・平成31年度2学期までにデリバリー方式から学校調理方式への移行を市内の全中学校で実施します。

デリバリー方式



学校調理方式



問い合わせ▶教育委員会 学校給食課 ☎6208-9836 FAX6202-7052

教育環境を充実



子どもたちに  
より良い  
学校生活を！！

市政

## 連載第8回 総合区・特別区ってなんだろう？

## 大都市・大阪が抱える課題



Q 東京・大阪・愛知は日本の3大都市圏だけど、その中で大阪の経済はどういった状況にあるの？

A 大阪の経済は明るい兆しが見えるものの、長期的には低落傾向が続いており、大都市としての競争力が落ちてきています。こうした状況は域内総生産(※)にも表れています。

3都府県の域内総生産(全国シェア) [内閣府「県民経済計算」より] 副首都推進局作成。

	1960年	1990年	2014年
東京都	17.6%	18.7%	18.5%
大阪府	9.0%	8.1%	7.4%
愛知県	6.2%	6.7%	7.0%

大阪は1960年と比較して1.6%シェアが低下

東京との比較においても、その差が広がっている



Q 人口減少や高齢化が問題になっているわよね。将来の大阪はどうなるの？

A 人口の減少や、域内総生産が下落し続けることは、税金が減少する要因となりえます。また、高齢化が進むと医療・介護などの社会保障に関連した経費の増加が見込まれることとなります。

3都府県の将来人口推計

	2010年	2040年	減少率
東京都	1,316万人	1,231万人	6.5%↓
大阪府	887万人	750万人	15.4%↓
愛知県	741万人	686万人	7.4%↓

大阪は3都府県中で特に人口減少率が高い

3都府県の高齢者人口比率の将来推計

	2010年	2040年
東京都	20.4%	33.5%
大阪府	22.4%	35.9%
愛知県	20.3%	32.4%

大阪は3都府県の中で高齢者人口比率が一番高い

※域内総生産  
一定の地域内で生産された付加価値額。  
なお、国内で生産された付加価値の総額が国内総生産。



大都市・大阪の課題解決に向け、将来のために、大都市制度改革として「総合区」と「特別区」の検討が必要なのね

問い合わせ▶副首都推進局問い合わせ担当 ☎6208-8989 FAX6202-9355

総合区・特別区 検索